

# グループの始め方と導き方

敬愛するリーダーたちへ

我々はみな、自分の命と引き換えに、何かのために生きている。しかし、男性たちを神が本来望んでおられる姿へと成長するのを助けるために人生をかけることほど、やりがいのある働きは他にない。

教会に大人の男性が10人いたら、そのうち…

- 9人の男性の子どもは教会から離れている
- 8人の男性は仕事に満足していない
- 6人の男性はクレジットカードの最低支払額しか毎月払っていない
- 5人の男性はポルノの深刻な問題を抱えている
- 4人の男性は離婚し、結果として毎年百万人の子どもたちがその影響を受けている
- そして10人全員が、家庭と仕事とのバランスに悩んでいる

(ジョージ・バーナ リサーチによる)

この学びを導く中で、あなたは男性たちの人生を永遠に変えることのできる機会を与えられている。さらに、男性たちがより妻にとって良い夫、子どもたちにとってより良い父親となることで、彼らの後の世代にまで影響を与える可能性すらあるのだ。

バーナによる<sup>リサーチ</sup>研究の結果を見ても、男性を成功する人生に導く働きは急務であり、そのニーズは極めて大きい。

## グループを始めるにあたり

- ・ もしあなたがEMAWをご自身の教会で始めようとしているなら、あなたの牧師と話しをして、この学びを始めるための助力をお願いしよう。週報のお知らせ欄にEMAWの学びを始めるアナウンスを載せてもらえるか聞いてみよう。
- ・ EMAWを通して、神が望まれる本来の男性への姿へと、あなた自身を導いてくださるよう神に祈ろう。
- ・ 教会のロビーに机を設置しよう。EMAW紹介パンフレットをウェブサイトからダウンロードして印刷して、興味を持った男性が持ち帰れるように置いておこう。
- ・ 男性たちにEMAWの実際の本を見せて、興味があるか尋ねよう。「この学びはある程度の時間と努力を要するが、それだけの価値がある」と伝えよう。そして「グループに参加すべきかどうか祈り始めてほしい」と伝えよう。
- ・ グループが一番良く機能するために、あなたを含めて4～7人を募集しよう。
- ・ さらに詳しい情報があるので、ウェブサイトも参照しよう。

## リーダー用ガイド

各レッスンの最初のページは、リーダー用ガイドになっている。もしあなたがこれまでに聖書研究を導いた経験があったとしても、このリーダー用ガイド通りに進めることが重要である。このガイドは2年以上の実地検証を経て練られたもので、あなたのグループを成功させるように設計されている。

例を上げよう。ある男性が言ったとしよう。「<sup>クワイエットタイム</sup>静思の時や暗唱聖句が大変すぎるので、自分はそれをやらずに学びを進めたい」と。しかし、リーダー用ガイドに従って進めていけば、それらを飛ばしてしまうことはなくなる。あなた自身ではなく、このリーダー用ガイドがグループを導くようにしよう！ 実は、全てのグループが最後まで完走できるわけではない。メンバーが途中で脱落するのも、よくあることなのだ。そんな中、リーダー用ガイドは、あなたのグループが成功する可能性を最大限にまで高めてくれるのだ。

各レッスンには、あなたがメンバーに問うべき質問が用意してある。質問には必ず [✓] マークがついている。この [✓] マークがある時には、リーダーは必ずメンバーに質問をして、文の指示に従おう。

### リーダーこそ鍵である

リーダー用ガイドに従って進めていけば、それらを飛ばしてしまうことはなくなる。あなた自身ではなく、このリーダー用ガイドがグループを導くようにしよう！

グループのリーダーとして、あなたは強い影響力を持っている。多くの教会で弟子訓練がうまくいかないのは、守るべき基準がなく、アカウンタビリティ（責任を負い合う関係）が欠如している事による。そういうわけで、ほとんどのグループは「男性向けバイブルスタディに参加する」ということに対する考え方を根本的に<sup>パラダイムシフト</sup>思考転換する必要がある。もしメンバーたちが他の<sup>バイブルスタディ</sup>聖書研究に参加したことがあって、そこでは事前に予習することを求められていなかったとしたら、これも変えていく必要がある。**男性が成長しようとするなら、変化はどうしても起こさなければならないのだ。**

**この変化は最初に、あなたが模範を示すことから始まる。**リーダーであるあなた自身が率先して、<sup>クワイエットタイム</sup>静思の時を分かち合い、暗唱聖句を暗記し、レッスンの予習を十分にして、模範となる姿を見せていこう。

<sup>クワイエットタイム</sup>静思の時、暗唱聖句と黙想、そしてレッスンの予習は、弟子作りの鍵となる土台である。もしこれらが実行されていないと、男性たちの人生を変革する力は失われてしまうのだ。

最初の数レッスンでは、<sup>クワイエットタイム</sup>静思の時や暗唱聖句をするのに困難を覚える人も出てくるだろう。**これはよくあることなので、がっかりしないでほしい！** あなたの役割は、模範を示しながら、メンバーが成功できるように励ますことなのだ。

レッスン5で**ミッション達成記録**を初めて紹介する。毎週、達成できたところに日付を記入してサインをもらおう。これは、グループの基準を高く保つのに役立つよう設計されている。**ミッション達成記録**にあなたのグループを支えてもらおう。あなたがすべき事はただ、模範を示し、課題をこなした人を毎週ほめて、**ミッション達成記録**を達成できるように励ます事なのだ。**ほとんどの男性は、自分が何をどうするように求められているかを知りたいと思っていて、そしてそれを達成したいと願っているものなのだ。**

レッスンでクワイエットタイム静思の時を分かち合う時、心からの称賛と励ましの言葉をかけよう。もしメンバーがクワイエットタイム静思の時を通して何か新しい発見を神から与えられた時は、**盛大に喜ぼう！** もしあなたがその真理を30年以上前から既に知っていたとしても、彼のために喜ぼう。なぜなら、彼は神ご自身から新しいことを今まさに教わっているからだ。数週間もすれば、メンバーたちはみことばの分かち合いを聞くたびに、お互いを励まし合い始めるようになるだろう。あなたはリーダーとして模範を示しつつ、メンバーが神と共に歩むのを励まし続けよう。

メンバーの男性たちがクワイエットタイム静思の時を通してみことばを学び、暗唱聖句をして、やる気や喜びが湧いてきたなら、あなたは弟子作りの土台石を、彼らの人生に据えたことになるのだ。

## 誰もがブルドッグ

第1巻のレッスン9「**誰もがブルドッグ**」は、私が前述した思考転換パラダイムシフトを起こすための助けになるように設計されている。このレッスンでは、お互いに正直になって、彼らが弟子作りのプロセスに真摯しんしに取り組んできたかどうか尋ねる。ここでもう一度、レッスン1で署名した「**私の決心**」を見返すようになっている。

レッスン9の「我々はクリスチャンとしてどのように成長するのか」という箇所では、霊的に訓練される際に起こる葛藤を扱っている。神が願っておられる本来の男性へと成長することと、そのために必要なことを行なっていく、ということに、レッスン9で我々はもう一度決意を固め、再献身する。レッスンの最後にお互いに祈り合うことは重要である。男性たちが互いに祈り合って、葛藤や試練の中で我々を変えてくださる神の恵みを祈り求めるのは、とても良い影響を与える。

## これは戦争である

男性たちのために毎日祈る習慣を築き上げよう。レッスン3の「男性がつまずく原因」で学ぶとおり、我々は戦争の真っ只中にいて、グループのメンバー全員がキリストと歩むことから遠ざかるために、敵はあらゆる手を尽くしてくる。もしあなたの教会に祈りのチームがあるなら、あなたのグループのために祈ってもらうよう頼もう。多くの祈りのチームは女性のリーダーが導いていて、彼女たちは教会の男性たちが成熟し、家庭を良く治め、教会でリーダーシップをとってほしい

と願っていることも多いのだ。祈りのチームは喜んであなたとグループのために祈ってくれるだろう。

**時間通りに始まり、時間通りに終わることを目標としよう。**時間を守ると、男性たちは感謝してくれる事だろう。静思クワイエットタイムの時の分かち合いと暗唱聖句に毎回遅れて来る人がいたら、その人にはこう頼もう。「レッスンを終わった後に少し残って、僕（リーダー）と一緒に静思クワイエットタイムの時の分かち合いと暗唱聖句の確認をしよう」と。こうすることで、彼に対するアカウンタビリティ（責任を負い合う関係）を保ちつつ、同時に彼が（やるべきと既にわかっている）やるべき事をやれるように励ます、愛のある勧めをすることができる。

第1巻を終えた後で、もし予習クワイエットタイムや静思クワイエットタイムの時、暗唱聖句を毎回してくることができない人がいたら、彼と二人きりで話して、第2巻に進まずに、第1巻の学びが新たに始まる時に、再度そちらに参加してもらうように伝えよう。時に、仕事や家庭の状況があまりに厳しい状況だったため、学びについて来れなかった、という事もあるのだ。

### 習熟度診断：なぜテストがあるのか？

本の巻末には**習熟度診断**（テスト）がある。ある研究によると、人が新しいことを理解して、その考え方が根を下ろすには、最低でも7回はそれに触れる必要がある、とのことだ。この学びでは、男性の考え方や生き方を根本的に造り変えることのできる真理に、繰り返し繰り返し触れさせていく。習熟度診断とディスカッションは、それらの真理に2度3度と繰り返し触れさせてくれる機会となる。覚えておいてほしい。目的は、男性がレッスンを一通りこなすことではない。この学びの目的は、レッスンに書かれた真理を、男性が一通り理解して行動に移すことにある。男性がどれだけ変えられるかは、聖書的真理が男性の内にどれだけ深く根ざすか、によるのだ。

### 第2巻と第3巻

第2巻と第3巻は、活発な議論ディスカッションを引き起こすことだろう。結婚や子育て、金銭管理、試練を乗り越える事などの領域に関わる聖書的原則を、全く聞いたことのない男性も大勢いる。我々の社会や教育、そして家族から、時に聖書とは真逆の教えを受けてきた人も多いのだ。「あなたは間違っている。あなたは変わらなければならない」とメンバーを説得するのは、あなたの仕事ではない。その仕事は、このレッスンのテキストとみことば、そして聖霊さまにお任せしよう。

## この学びの使い方

EMAWは男性のスモールグループ、または一対一の弟子訓練で用いられるように設計されている。また、教会の日曜学校の成人男性クラスで使う事もできる。しかし、時間が1時間以内で、しかも4人以上いるという条件だと、だいぶ難しくなる。会う時間が1時間以内というグループのほとんどは時間節約のために、暗唱聖句の確認を2人ずつのペアになって行い、その後3~4人ずつのグループに分かれて静思クワイエットタイムの時の分かち合うようにしている。時間配分によっては、1レッスンに2週間かけることもある。暗唱聖句の確認と静思クワイエットタイムの時の分かち合いは、必ず毎週することだ。EMAWの中でこの2つの訓練は必要不可欠であり、この2つこそが多くの男性の人生を変え、そしてもっとも心を満たしてくれる要因となるからだ。

あなたがマタイ28：18-20に書かれた大宣教命令の「行って、弟子を作りなさい」を成し遂げる旅路を始めたあなたに、神の祝福があるように！ **そして、神が本来意図した勇士にあなたがなるように！**

*Lonnie Berger*

ロニー・バーガー

次ページのグループを成功させるための聖書研究ガイドラインを読んで、あなたのグループをさらに成功させるためには何が必要かチェックしよう。

## EMAWグループを成功させるための聖書研究ガイドライン

成功しているグループは以下の特徴がある。

- ・ 開始時間を守る……集まった際は普通、お互いの近況をまず尋ね合う。しかし、始めると決めた時間から5分以内にはレッスンを開始しよう。
- ・ 暗唱聖句を毎週確認する……時間を有効に使うため、あるグループでは到着した順に2人1組になって暗唱聖句を復習している。誰かが遅れてきた時は、レッスン終了後にリーダーと一緒に暗唱聖句を確認している。伝道者の書4：9-10参照。
- ・ <sup>クワイエットタイム</sup> 静思の<sup>クワイエットタイム</sup> 時を毎週分かち合う……レッスン2の「<sup>クワイエットタイム</sup> 静思の<sup>クワイエットタイム</sup> 時をグループ内で分かち合う方法」に従って分かち合おう。
- ・ 暗唱聖句の確認、ミッション達成記録への署名、そして<sup>クワイエットタイム</sup> 静思の<sup>クワイエットタイム</sup> 時の分かち合いの全てを、開始から30分以内に終わらせよう。
- ・ メンバー全員が予習を済ませていて、分かち合いをする準備ができている。
- ・ リーダーがメンバー全員を上手に巻き込んでいる。特に普段静かな人に質問を振り、質問の答えや考えを聞こう。
- ・ リーダーが残り時間を把握していて、上手にペース配分をしているので、レッスンの最後を慌てて終わらせるようなことがない。
- ・ 話を脱線させない。グループの話がテーマから外れた時は、リーダーはこう言おう。「さあ、テキスト（もしくは質問）に話を戻そうか。」
- ・ レッスンが進むにつれて、テキストは長くなっていく。そのため、参加者一人ひとりがかかり時間をかけて予習に取り組む必要が出てくる。そしてグループ全体で、<sup>ディスカッション</sup> 議論のテーマから外れないようにお互いに支え合っている。
- ・ 決められた時間通りに終わろう。もし7時10分が予定開始時刻なら、90分後の8時40分までには終えよう。終わった後は、残ってしゃべりたい人は好きなだけしゃべってもいい。
- ・ もしメンバーが特定のレッスンに特に興味を示し、<sup>ディスカッション</sup> 議論が長引いたら、1レッスンを2週間かけてもいい。そうすると、遅れているメンバーが追いつくための余裕を作ることにもなる。
- ・ WARの祈りを学んだら、WARの祈りを使ってグループ全体で一緒に祈る。
- ・ 職場や家庭で激しい試練に遭っているメンバーがいたら、特に恵み深く接しよう。
- ・ このグループは、あなたの葛藤を安心して分かち合える、安全な場である。ここで聞いたことは、決してグループの外で話してはいけない。たとえあなたの妻であっても話してはいけない。

## リーダー用ガイド

# レッスン1 なぜ弟子訓練するのか

## リーダーの方へ

学びをリードしていくに当たり、より容易に先へ進められるようにまとめたリーダー用ガイドを、ホームページ <https://emaw.jp> からダウンロードすることができる。

上記サイトでは、グループを効果的に導く方法に関するポイントをPDFにまとめた「グループの始め方と導き方」という文書を閲覧できる（訳注：日本語版を翻訳中。完成し次第ホームページに掲載予定）。リーダーの方は、最初の集会の前に読んでおこう。

## なぜ弟子訓練するのか

レッスン1の目標は、メンバーが知り合いになることと、「神が意図した本来の男性になる」と参加者1人1人が決意することである。

- ✓ テキストを配り、目を通してもらう。
- ✓ 参加者がまだお互いをよく知らない場合は、最初の数分間で自己紹介をする。1人2分ずつ、名前と職業、家族構成を話そう。
- ✓ 13-14ページ：全員でプロローグを音読する。1人1~2段落ずつ、順番に読んでいく。
- ✓ 16-23ページを1人ずつ順番に音読する。【✓】マークは、全員でディスカッションする質問である。【✓】ごとに立ち止まって質問をしよう。
- ✓ 23ページ：おさらいと宿題を読む。参加者の連絡先をテキストの後ろにある連絡先ページに書き込もう。
- ✓ 次の集会の時間と場所を決めよう。
- ✓ 最後にリーダーが祈ってから解散する。

## リーダー用ガイド

# レッスン2 絶対に譲れない「ただ一つのこと」を見つける

## リーダーの方へ

学びをリードしていくに当たり、より容易に先へ進められるようにまとめたリーダー用ガイドを、ホームページ <https://emaw.jp> からダウンロードすることができる。

## 絶対に譲れない「ただ一つのこと」を見つける

- ✓ 祈りで学びを開始する。グループ全員で祈るのはレッスン7から始まる。
- ✓ 予習をしてきたか尋ねよう。
- ✓ 全員が22ページの私の決意に署名を済ませたか尋ね、まだの人がいれば署名してもらおう。
- ✓ 1人ずつ順に1～2段落ずつテキストを音読してもらおう。チェック【✓】がついているところはみんなで議論する質問があるところなので、【✓】の所で読むのを止めて、質問をしよう。
- ✓ 25～33ページにある質問を1つずつしていく。残り時間に応じて2～4人の参加者に答えてもらおう。全員に発言する機会を与えよう。
- ✓ 30-31ページ：コロサイ3章1～17を読んで、デボーションで何を書いたことを1人1人に分かち合ってもらおう。メンバーが「グループでクワイエット タイム静思の時を共有する方法」に従っているかを確認しよう。
- ✓ 33～34ページ：おさらいと宿題を読む。
- ✓ クワイエット タイム静思の時の内容を来週みんなで分かち合うことを伝えておこう。
- ✓ クワイエット タイム静思の時を持つ技術を全員が磨いていけるよう、主の助けを祈ってから解散する。

## リーダー用ガイド

# レッスン3 男性がつかまずく原因

## リーダーの方へ

レッスンを導く中で、リーダー用ガイドに従うことは重要である。毎週同じ指示もあるが、この週だけにある特別な指示もあり、それに従わないと効果が半減してしまう。そういうものには星印（★）をつけた。

## 男性がつかまずく理由

- ✓ 祈りで集会を始めよう。
- ✓ 参加者にそれぞれのクワイエット タイム静思の時はどうだったか聞こう。
- ✓ ★33ページの「クワイエット タイム静思の時間をグループで分かち合う方法」をもう1度読もう。クワイエット タイム静思の時は毎週分かち合うので、このスキル技術を習得することは重要である。
- ✓ クワイエット タイム ジャーナル静思の時の記録を開いて、今週やったものの中からを選んで1人ずつ話してもらおう。
- ✓ ★ クワイエット タイム静思の時間を分かち合った後28～29ページに戻って「クワイエット タイム静思の時のABC」と「クワイエット タイム静思の時のための重要なガイドライン」をもう1度読む。これは生涯続けていく新しい習慣だから、復習しよう。
- ✓ 1人ずつ順に1～2段落ずつテキストを音読してもらおう。チェック（✓）がついているところはみんなで議論する質問があるところなので、✓の所で読むのを止めて、質問をしよう。
- ✓ 37～40ページにある質問を1つずつしていく。残り時間に依じて2～4人の参加者に答えてもらう。全員に発言する機会を与えよう。
- ✓ 40ページ：グループ全員でヨハネ15：4～8を読み、それから質問について話し合おう。全員が分かち合いに参加できるようにしよう。
- ✓ 41ページ：おさらいと宿題を読む。
- ✓ EMAW暗唱聖句カードを取り出し、マタイ22：36～38を暗唱聖句入れに入れて暗記する。
- ✓ それぞれのクワイエット タイム静思の時間を助けてくださるよう神に祈り求めてから会を閉じる。

## リーダー用ガイド

# レッスン4 「御言葉に生きる人」

## リーダーの方へ

レッスンを導く中で、リーダー用ガイドに従うことは重要である。毎週同じ指示もあるが、その週だけにある特別な指示もあり、それに従わないと効果が半減してしまう結果になる。そういうものには星印（★）をつけた。

### 「御言葉に生きる人」

- ✓ 祈りで集会を開始しよう。
- ✓ ★1人ずつクワイエット タイム静思の時の1回分を分かち合ってもらおう。33ページで説明した「グループでのクワイエット静思の時の分かち合い方」どおりにしよう。
- ✓ ★1つ目の暗唱聖句「マタイ22：36－38」を暗記できたかどうか、メンバーに尋ねよう。暗唱に最初に挑戦したい人がいるか尋ねよう。あなたが最初にやるのもいいだろう。最終的には1人ずつ順番に暗唱に挑戦してもらおう。
- ✓ ★忘れずに聖句箇所を最初と最後に声に出して暗唱することが大切だと確認しよう。
- ✓ 1人ずつ順に1～2段落ずつテキストを音読してもらおう。チェック（✓）がついているところはみんなディスカッション議論する質問があるところなので、✓の所で読むのを止めて、質問をしよう。
- ✓ 43－48ページにある質問を1つずつディスカッション議論していこう。残り時間に応じて2～4人の参加者に答えてもらおう。全員に発言する機会を与えよう。
- ✓ 46ページ：「一生使える聖句暗記術」を読む。質問や意見があるかメンバーに尋ねよう。
- ✓ 47ページ：1節ずつ誰かに読んでもらおう。残り時間に応じて、できるだけ多くの人に「御言葉に生きる人」に関して思うことや意見を発言してもらおう。
- ✓ 47ページ：1人1人に、「なぜ御言葉に生きる人になりたいのか」に書いたことを読んで発表してもらおう。
- ✓ 48－49ページ：おさらいと宿題を読む。
- ✓ 暗唱聖句入れに今週の暗唱聖句の第2テモテ3：16－17を入れ、今週の暗記を始める。
- ✓ 49ページ：「注意事項」を読む。
- ✓ 最後にお祈りをして、会を閉じよう。

## リーダー用ガイド

# レッスン5 黙想：目的を持って考える

### リーダーの方へ

このレッスンには★マークがついた、特別な質問が含まれている。

### 黙想：目的を持って考えること

- ✓ ★2人ずつペアになって、覚えた2つの聖句を互いに暗唱し合おう。1人はチェック役で、カードを見て聖句箇所（〇〇書〇章〇節）を言い、続いて暗唱役のもう1人がカードを見ずに暗唱し、最後に聖句箇所を言う。
- ✓ ★巻末のミッション達成記録ページをメンバーに紹介する。聖句を1字1句正確に暗唱できたら、確認として誰かに名前と日付を1行目に書き込んでもらおう。ミッション達成記録ページは、レッスンが進んでいくごとに達成した部分に書き込んでもらう。ミッション達成記録ページの最後に書いてある第1巻の終了条件を読もう。
  - ・ レッスン1～9を終えること。
  - ・ 6つの聖句を記憶し暗唱すること。
  - ・ 20回以上の<sup>クワイエット タイム</sup>静思の時を記録すること。
- ✓ 祈りで会を始めよう。
- ✓ ★参加者に暗唱聖句の状況を尋ねよう。メンバーたちは初めと終わりに聖句箇所を声に出して言っているか？聖句箇所と聖句の出だしを一緒に暗唱しているか？などを確認しよう。
- ✓ ★46ページの聖書暗記術をもう1度読む。
- ✓ 1人ずつ<sup>クワイエットタイム</sup>静思の時1回分をシェアしてもらおう。
- ✓ 51ページ：1人ずつ順に1～2段落ずつテキストを音読してもらおう。
- ✓ 52～54ページ：このページにある質問を1つずつ尋ねていく。残り時間に応じて2～4人の参加者に答えてもらう。全員に発言する機会を与えよう。
- ✓ 55ページ：おさらいと宿題を読む。
- ✓ 55ページ：暗唱聖句入れにヨシュア1：8に入れ、今週暗記する聖句として覚え始める。
- ✓ 祈って会を閉じる。参加メンバーのためにリーダーとして、彼らが御言葉をよく知って、その御言葉どおりに生きる人となれるように祈り合おう。

## リーダー用ガイド

# レッスン6 持っていないのは、求めないから

### リーダーの方へ

このレッスンには★マークがついた、特別な質問が含まれている。

### 持っていないのは、求めないから

- ✓ ★2人ずつペアになって、覚えた2つの聖句を互いに暗唱し合おう。1人はチェック役で、カードを見て聖句箇所（〇〇書〇章〇節）を言い、続いて暗唱役のもう1人がカードを見ずに暗唱し、最後に聖句箇所を言う。
- ✓ 巻末のミッション達成記録のページは、レッスンが進むごとに達成部分に署名してもらおう。
- ✓ 祈りで会を始めよう。
- ✓ ★復習して、復習して、復習し続けよう！復習こそ暗唱聖句の鍵である。毎日最低1回は聖句を復習しよう。
- ✓ ★毎週最低1回の静思クワイエットタイムの時は、黙想法を使って新しい暗唱聖句を学ぶように励まそう。そうすればその聖句の暗記は半分終わったようなものである。
- ✓ 1人ずつ静思クワイエットタイムの時1回分をシェアしてもらおう。
- ✓ テキストを1人1段落ずつ順番に読む。
- ✓ 58-60ページ：これらのページにある質問を1つ1つ尋ねていく。時間の進み具合によって2人～4人の参加者に答えてもらう。全員が参加するようにしよう。各節と一緒に読もう。
- ✓ 60ページ：祈りに関する自分のまとめを1人ずつ読んでもらう。
- ✓ 60ページ：残り時間に応じて、できるだけ多くの人に「A：質問」を使った黙想と、自分の言葉に言い換えたヨハネ16：24をわかちあってもらおう。
- ✓ 61ページ：おさらいを読む。
- ✓ 61ページ：「注意事項」を一緒に読む。静思クワイエットタイムの時と聖句の暗記という霊的習慣を建て上げていくうえで、どうしたらお互いに助け合えるかを話し合おう。
- ✓ 61ページ：宿題を読もう。暗唱聖句入れにヨハネ16：24を入れ、今週はそれを暗記しよう。
- ✓ 祈って会を閉じる。

そろそろ次のテキストを注文するタイミングだ。既婚男性のグループは第2巻「夫婦関係と子育て」を注文する。独身男性のグループは2巻を飛ばして3巻の「金銭管理、性、仕事、試練、そして人生を意義あるものにする」を購入しよう。

## リーダー用ガイド

# レッスン7 祈りの真の目的

リーダーの方へ

このレッスンには★マークがついた、特別な質問が含まれている。

## 祈りの真の目的

- ✓ ★2人ずつペアになって、覚えた2つの聖句を互いに暗唱し合おう。1人はチェック役で、カードを見て聖句箇所（○○書○章○節）を言い、続いて暗唱役のもう1人がカードを見ずに暗唱し、最後に聖句箇所を言う。
- ✓ 祈りで会を始めよう。
- ✓ ★記録した<sup>クワイエットタイム</sup>静思の時の回数を各自に数えてもらおう。10回以上の人はいらるだろうか？15回以上は？テキスト巻末にあるミッション達成記録のページに書き込もう。よくやった人には賞賛を、なかなか思うようにできない人には励ましの言葉をかけよう。
- ✓ 1人ずつ<sup>クワイエットタイム</sup>静思の時1回分をシェアしてもらおう。
- ✓ テキストを1人1段落ずつ順番に読む。
- ✓ 64-69ページにある質問を1つ1つ尋ねていく。残り時間に依じて2人～4人の参加者に答えてもらう。全員が参加するようにしよう。
- ✓ 70ページ：おさらいを読む。
- ✓ 70ページ：宿題を読もう。暗唱聖句入れにピリピ4：6-7を入れて、今週暗記しよう。
- ✓ 70ページ：祈りの「さんかけ法」をグループで練習する。68ページを開き、62ページの説明に従って練習する。

- ✓ ★リーダーの方へ：下記のWARの祈りの訓練のやり方を、必ずグループに読んで聞かせること。全員に68ページを開いてもらおう。
  - ・ 68ページの祈りのサンプルに従って、1人3回ずつ祈りを捧げる。リーダーが賛美と感謝を捧げる礼拝のW（<sup>ワship</sup>Worship）の祈りから始める。それから「祈りのサンプル」を参考にしつつ、賛美と感謝の祈りを1人ずつ全員が同じように祈る。
  - ・ 全員が祈り終わったら、罪を認めるA（<sup>アドミット</sup>Admit）の祈りをリーダーが最初に祈り、それから1人ずつ全員が同じように祈る。
  - ・ 全員が祈り終わったら、こんどは願うR（<sup>リクエスト</sup>Request）の祈りをリーダーが最初に祈り、それから1人ずつ全員が同じように祈る。

## リーダー用ガイド

# レッスン8 人生が変えられる秘訣

リーダーの方へ

レッスンを導くに当たり、指示どおりに進めやすくするためにまとめたリーダー用ガイドをホームページ<https://emaw.jp> からダウンロードできる。

### 人生が変えられる秘訣

- ✓ 2人1組になって、暗唱聖句を互いに暗唱し合おう。
- ✓ ミッション達成記録をチェックし、署名し合おう。
- ✓ 祈りでレッスンを始めよう。
- ✓ クワイエットタイム 静思の時1回分を1人ずつシェアしてもらおう。
- ✓ 1人ずつ順番にレッスンを1段落ずつ読もう。
- ✓ 73-76ページにある質問を1つ1つ尋ねていく。残り時間に応じて2人~4人の参加者に答えてもらう。全員が参加できるようにしよう。
- ✓ 74ページ：ルカ6：46-49。リーダーの方へ：この聖句で大切な教訓は、御言葉に従う人と従わない人に現れる差である。
- ✓ 75ページの注意事項：暗唱聖句に関する私たちの新しい目標についてどう思うだろうか？
- ✓ 76ページ：これまで暗記した全ての聖句を復習し、これらの聖句をどのように人生で実行していけるかを分かち合おう。
- ✓ 77ページ：おさらいと宿題を読む。
- ✓ 77ページ：暗唱聖句入れにヤコブ1：22を入れ、今週暗記しよう。
- ✓ 77ページ：68ページのWARの祈りを用い、62ページのリーダー用ガイドにある手順に従い、グループで祈って会を閉じる。

## リーダー用ガイド

# レッスン9 あなたもブルドッグ

リーダーの方へ

レッスンを導くに当たり、指示に従いやすくするためにまとめたリーダー用ガイドをホームページ <https://emaw.jp> からダウンロードできる。

あなたもブルドッグ

- ✓ 2人1組になって互いに暗唱聖句を暗唱し合う。ミッション達成記録に署名しよう。
- ✓ 第1巻の課題を全て終わらせたか、メンバー全員に尋ねよう。課題の終了条件を全て満たすように励まそう。
- ✓ レッスンを祈りで始める。
- ✓ クワイエットタイム 静思の時1回分を1人ずつシェアしてもらおう。
- ✓ テキストを1人1段落ずつ順番に読む。
- ✓ 79–81ページ：ブルドッグのようであることについての質問を読んで、私たちはクリスチャンとしてどのように成長しているかを話し合いおう。（リーダーへ：男性たちが『イエスキリストの侍』の中で努力してきた褒めるべきことを1人に1つずつ見つけて認めよう。）
- ✓ 82–83ページ：「イエスキリストの侍の学びを成功させるためのガイドライン」を読み、話し合おう。どうすればより良く学べるか、メンバーに尋ねよう。
- ✓ 84–86ページ：習熟度診断に回答しよう。1人1問ずつ順番に音読してもらい、全員に答えてもらおう。
- ✓ 86ページ：ヘブル12：11を全員で読む。それぞれの黙想したことと、聖句を自分の言葉に書き換えたものをシェアしてもらおう。
- ✓ 87ページ：おさらいと宿題を読む。
- ✓ 68ページのWARの祈りを使って、62ページのリーダー用ガイドにある手順に従い、グループで祈って会を閉じる。神が求めておられる霊的ブルドッグに私たちがなれるように、R：願う祈りをする時にお互いのために祈り合おう。